

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
体育	[保健体育]

履修学科	普通 科
履修学年	第 1 学年
履修単位	3 単位
教科書	(現代高等保健体育 大修館 7 0 1)
副教材	(ステップアップ高校スポーツ 2 0 2 4)

科目目標
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
1 学期	4	オリエンテーション 体づくり運動 体育理論 1 スポーツの始まりと変遷 2 文化としてのスポーツ 3 オリンピックとパラリンピックの意義	年間計画及び学習の進め方を理解する。 (体ほぐしの運動・体力を高める運動) 運動・スポーツの文化的特徴	○	○	○
	5	球技・武道選択Ⅰ ① ネット型 (バレーボール) ② ベースボール型 (ソフトボール) ③ 武道選択 (柔道)	(球技選択として①か②のどちらかを選択) ① (スキルテスト・ゲーム・審判) ② (スキルテスト・ゲーム・審判)	○	○	○
	6	4 領域選択 ① 陸上競技 (短距離) ② 器械運動 (マット) ③ 水泳 ④ ダンス (エイサー)	(学校選択として④を選択) ④ (スーリー東エラブ・ワイド節)	○	○	○
		期末考査	授業態度・実技 (ゲーム) により評価			
	7	4 領域選択 (考査後も継続)	(考査後も継続)	○	○	○
2 学期	9	陸上競技 (短距離走・リレー) 球技・武道選択Ⅱ ① ネット型 (バレーボール) ② ベースボール型 (ソフトボール) ③ 武道選択 (柔道)	(球技選択として①か②のどちらかを選択) ① (スキルテスト・ゲーム・審判) ② (スキルテスト・ゲーム・審判)	○	○	○
	10	球技・武道選択Ⅲ	(球技選択として①か	○	○	○

3 学 期	11	① ゴール型（サッカー） ② ゴール型（バスケットボール） ③ 武道選択（柔道）	②のどちらかを選択） ①（スキルテスト・ゲーム・審判） ②（スキルテスト・ゲーム・審判）			
	期末考査		授業態度・実技（ゲーム）により評価	/	/	/
	12	球技・武道選択Ⅱ（考査後も継続）	（考査後も継続）	○	○	○
	1	体づくり運動 陸上競技（長距離） 体育理論 4 スポーツが経済に及ぼす効果 5 スポーツの高潔さとドーピング 6 スポーツと環境	（体ほぐしの運動・体力を高める運動） （ロードコースによるタイムトライアル）			
	2	球技・武道選択Ⅲ ① ゴール型（サッカー） ② ゴール型（バスケットボール） ③ 武道選択（柔道）	（球技選択として①か②のどちらかを選択） ①（スキルテスト・ゲーム・審判） ②（スキルテスト・ゲーム・審判）	○	○	○
	学年末考査		授業態度・実技（ゲーム）により評価	/	/	/
	3	球技・武道選択Ⅲ（考査後も継続）	（考査後も継続）	○	○	○

評価の観点 ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

評価の観点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識するべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。
評価の方法 1 欠課・見学・忘れ物等 2 授業への取り組みの様子 3 スキル（実技）テスト・ルールテストの成績 4 グループカードの記入状況		
担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）		
1 時間やルールを守り、無断や安易な理由での遅刻や欠課、忘れ物等がないよう、前向きに取り組ましましょう。 2 運動に主体的に取り組む、ルールやマナーを大切にしましょう。 3 各運動で、記録の向上や競争の喜びや味わい、各種目の技能を高めるよう工夫に努めましょう。 4 運動の方法、体力や記録の高め方、課題解決の方法など主体的に探求しましょう。 5 技術や試合の進め方を学ぶとともに、相手を尊重し、礼儀正しい行動を取りましょう。		

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
保健	[保健体育]

履修学科	普通 科
履修学年	第 1 学年
履修単位	1 単位
教科書	(現代高等保健体育 701)
副教材	(現代高等保健体育ノート 701)

科目目標
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
1 学期	4	○ オリエンテーション 第1単元	【SDGs 3. すべての人に健康と福祉を】			
	5	1 健康の考え方と成り立ち	1 さまざまな健康の考え方について説明できる。			
		2 私たちの健康のすがた	2 わが国の健康水準の変化とその背景について説明できる。			
		3 生活習慣病の予防と回復	3 生活習慣病の種類と要因について説明できる。			
	6	4 がんの原因と予防	4 がんの種類や原因について説明できる。			
		5 がんの治療と回復	5 がんのおもな治療法や緩和ケアについて説明し、がん検診の普及や情報サービスの整備などの社会的な対策も説明できる。	○	○	○
		6 運動と健康	6 健康と運動の関係について説明できる。			
7 食事と健康		7 食事と健康の関係について説明できる。				
2 学期	7	8 休養・睡眠と健康	8 健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について説明できる。健康と睡眠の県警についても説明できる。			
		9 喫煙と健康	9 喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明できる。			
		期末考査		○	○	○
	2 学期	9	10 飲酒と健康	10 飲酒による健康への短期的影響と長期的影響を説明できる 個人や社会環境への対策について例をあげて説明できる。	○	○
11 薬物乱用と健康			11 薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響を説明できる。			
12 精神疾患の特徴			12 精神疾患の発病の要因とおもな症状について理解する。			
10		13 精神疾患の予防	13 精神疾患を予防する方法について説明できる。			
		14 精神疾患からの回復	14 精神疾患の治療について例をあげて説明できる。適切な治療や回復のためには、どのような社会環境が必要か説明できる。			
		15 現代の感染症	15 感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて説明できる。	○	○	○
11		16 感染症の予防	16 感染症の予防対策について3原則を説明できる			
	17 性感染症・エイズとその予防	17 性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点について説明し、その予防と対策について個人と社会に分けて例をあげるこ とができる。				
		期末考査		○	○	○

	12	18 健康に関する意思決定・行動選択	18 意志決定・行動選択に影響を与える要因を説明できる。	○	○	○
3 学期	1	19 健康に関する環境づくり	19 社会環境の健康への影響について例をあげて説明できる。ヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりを理解する。			
		第2単元	【SDGs 3. すべての人に健康と福祉を】			
	2	1 事故の現状と発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通における安全	1 事故の実態と被害の実態について説明できる。 2 安全のために必要な個人の行動について説明できる 3 交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について例をあげて説明できる。	○	○	○
		学年末考査		○	○	○
	3	4 応急手当の意義とその基本 5 日常的な応急手当 6 心肺蘇生法	4 応急手当の意義について説明できる 5 日常的なけがや応急手当の手順や方法について説明できる。 6 心肺蘇生法の方法と手順について説明できる。	○	○	○

評価の観点 ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

評価の観点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識するべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人生活および社会生活における健康・安全に関する諸問題について理解し、技能を習得している。	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題を見つけ、その解決をめざして適切な方法や解決方法を考え、表現している。	個人生活や社会生活における健康・安全について関心をもち、学習に進んで取り組んでいる。
評価の方法 1 定期考査の成績 2 授業への取り組みの様子 3 実験・実習等での取り組みの様子 4 ノート・レポートの提出状況		

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
1 時間やルールを守り、無断や安易な理由での遅刻や欠課、忘れ物等がないよう、前向きに取り組ましよう。 2 身の回りにある健康課題を明確にし、学習した知識を実生活に生かせるよう、主体的に取り組ましよう。 3 各単元で健康・安全にかかわる課題を他の生徒と共有し、課題解決に向けて協力し、ともに思考し、探求していきましょう。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
体育	[保健体育]

履修学科	総合学 科
履修学年	第 1 学年
履修単位	3 単位
教科書	(現代高等保健体育 大修館 7 0 1)
副教材	(ステップアップ高校スポーツ 2 0 2 4)

科目目標
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
1 学期	4	オリエンテーション 体づくり運動 体育理論 1 スポーツの始まりと変遷 2 文化としてのスポーツ 3 オリンピックとパラリンピックの意義	年間計画及び学習の進め方を理解する。 (体ほぐしの運動・体力を高める運動) 運動・スポーツの文化的特徴	○	○	○
	5	球技・武道選択Ⅰ ④ ネット型 (バレーボール) ⑤ ベースボール型 (ソフトボール) ⑥ 武道選択 (柔道)	(球技選択として①か②のどちらかを選択) ① (スキルテスト・ゲーム・審判) ② (スキルテスト・ゲーム・審判)	○	○	○
	6	4 領域選択 ⑤ 陸上競技 (短距離) ⑥ 器械運動 (マット) ⑦ 水泳 ⑧ ダンス (エイサー)	(学校選択として④を選択) ④ (スーリー東エラブ・ワイド節)	○	○	○
		期末考査	授業態度・実技 (ゲーム) により評価			
	7	4 領域選択 (考査後も継続)	(考査後も継続)	○	○	○
2 学期	9	陸上競技 (短距離走・リレー) 球技・武道選択Ⅱ ④ ネット型 (バレーボール) ⑤ ベースボール型 (ソフトボール) ⑥ 武道選択 (柔道)	(球技選択として①か②のどちらかを選択) ① (スキルテスト・ゲーム・審判) ② (スキルテスト・ゲーム・審判)	○	○	○
	10	球技・武道選択Ⅲ	(球技選択として①か	○	○	○

3 学 期	11	③ ゴール型（サッカー） ④ ゴール型（バスケットボール） ③ 武道選択（柔道）	②のどちらかを選択） ①（スキルテスト・ゲーム・審判） ②（スキルテスト・ゲーム・審判）			
	期末考査		授業態度・実技（ゲーム）により評価	/	/	/
	12	球技・武道選択Ⅱ（考査後も継続）	（考査後も継続）	○	○	○
	1	体づくり運動 陸上競技（長距離） 体育理論 4 スポーツが経済に及ぼす効果 5 スポーツの高潔さとドーピング 6 スポーツと環境	（体ほぐしの運動・体力を高める運動） （ロードコースによるタイムトライアル）			
	2	球技・武道選択Ⅲ ③ ゴール型（サッカー） ④ ゴール型（バスケットボール） ③ 武道選択（柔道）	（球技選択として①か②のどちらかを選択） ①（スキルテスト・ゲーム・審判） ②（スキルテスト・ゲーム・審判）	○	○	○
	学年末考査		授業態度・実技（ゲーム）により評価	/	/	/
	3	球技・武道選択Ⅲ（考査後も継続）	（考査後も継続）	○	○	○

評価の観点 ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

評価の観点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識するべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。
評価の方法 1 欠課・見学・忘れ物等 2 授業への取り組みの様子 3 スキル（実技）テスト・ルールテストの成績 4 グループカードの記入状況		
担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）		
1 時間やルールを守り、無断や安易な理由での遅刻や欠課、忘れ物等がないよう、前向きに取り組ましよう。 2 運動に主体的に取り組む、ルールやマナーを大切にしましょう。 3 各運動で、記録の向上や競争の喜びや味わい、各種目の技能を高めるよう工夫に努めましょう。 4 運動の方法、体力や記録の高め方、課題解決の方法など主体的に探求しましょう。 5 技術や試合の進め方を学ぶとともに、相手を尊重し、礼儀正しい行動を取りましょう。		

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
保健	[保健体育]

履修学科	総合学 科
履修学年	第 1 学年
履修単位	1 単位
教科書	(現代高等保健体育 701)
副教材	(現代高等保健体育ノート 701)

科目目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

- (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
1学期	4	○ オリエンテーション 第1単元	【SDGs 3. すべての人に健康と福祉を】			
	5	1 健康の考え方と成り立ち	1 さまざまな健康の考え方について説明できる。			
		2 私たちの健康のすがた	2 わが国の健康水準の変化とその背景について説明できる。			
		3 生活習慣病の予防と回復	3 生活習慣病の種類と要因について説明できる。			
	6	4 がんの原因と予防	4 がんの種類や原因について説明できる。			
		5 がんの治療と回復	5 がんのおもな治療法や緩和ケアについて説明し、がん検診の普及や情報サービスの整備などの社会的な対策も説明できる。	○	○	○
		6 運動と健康	6 健康と運動の関係について説明できる。			
7 食事と健康		7 食事と健康の関係について説明できる。				
2学期	7	8 休養・睡眠と健康	8 健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について説明できる。健康と睡眠の県警についても説明できる。			
		9 喫煙と健康	9 喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明できる。			
		期末考査		○	○	○
	2学期	9	10 飲酒と健康	10 飲酒による健康への短期的影響と長期的影響を説明できる 個人や社会環境への対策について例をあげて説明できる。	○	○
11 薬物乱用と健康			11 薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響を説明できる。			
12 精神疾患の特徴			12 精神疾患の発病の要因とおもな症状について理解する。			
10		13 精神疾患の予防	13 精神疾患を予防する方法について説明できる。			
		14 精神疾患からの回復	14 精神疾患の治療について例をあげて説明できる。適切な治療や回復のためには、どのような社会環境が必要か説明できる。			
		15 現代の感染症	15 感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて説明できる。	○	○	○
11		16 感染症の予防	16 感染症の予防対策について3原則を説明できる			
	17 性感染症・エイズとその予防	17 性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点について説明し、その予防と対策について個人と社会に分けて例をあげるこ とができる。				
		期末考査		○	○	○

	12	18 健康に関する意思決定・行動選択	18 意志決定・行動選択に影響を与える要因を説明できる。	○	○	○
3 学期	1	19 健康に関する環境づくり	19 社会環境の健康への影響について例をあげて説明できる。ヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりを理解する。			
		第2単元	【SDGs 3. すべての人に健康と福祉を】			
	2	1 事故の現状と発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通における安全	1 事故の実態と被害の実態について説明できる。 2 安全のために必要な個人の行動について説明できる 3 交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について例をあげて説明できる。	○	○	○
		学年末考査		○	○	○
	3	4 応急手当の意義とその基本 5 日常的な応急手当 6 心肺蘇生法	4 応急手当の意義について説明できる 5 日常的なけがや応急手当の手順や方法について説明できる。 6 心肺蘇生法の方法と手順について説明できる。	○	○	○

評価の観点 ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

評価の観点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識するべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人生活および社会生活における健康・安全に関する諸問題について理解し、技能を習得している。	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題を見つけ、その解決をめざして適切な方法や解決方法を考え、表現している。	個人生活や社会生活における健康・安全について関心をもち、学習に進んで取り組んでいる。
評価の方法 1 定期考査の成績 2 授業への取り組みの様子 3 実験・実習等での取り組みの様子 4 ノート・レポートの提出状況		

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
1 時間やルールを守り、無断や安易な理由での遅刻や欠課、忘れ物等がないよう、前向きに取り組ましよう。 2 身の回りにある健康課題を明確にし、学習した知識を実生活に生かせるよう、主体的に取り組ましよう。 3 各単元で健康・安全にかかわる課題を他の生徒と共有し、課題解決に向けて協力し、ともに思考し、探求していきましょう。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
体育	[保健体育]

履修学科	普通 科
履修学年	第 2 学年
履修単位	2 単位
教科書	(現代高等保健体育 大修館 7 0 1)
副教材	(ステップアップ高校スポーツ 2 0 2 3)

科目目標
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
1 学期	4	オリエンテーション 体づくり運動 体育理論 1 スポーツにおける技能と体力 2 スポーツにおける技術と戦術 3 技能の上達過程と練習	年間計画及び学習の進め方を理解する。 (体はぐしの運動・体力を高める運動) 運動・スポーツの学び方 【SDGs 3. すべての人に健康と福祉を】	○	○	○
		球技選択Ⅰ ⑦ ネット型 (バレーボール) ⑧ ベースボール型 (ソフトボール) ⑨ 武道選択 (柔道)	(球技選択として①か②のどちらかを選択) ① (スキルテスト・ゲーム・審判) ② (スキルテスト・ゲーム・審判)	○	○	○
		4 領域選択 ⑨ 陸上競技 (短距離) ⑩ 器械運動 (マット) ⑪ 水泳 ⑫ ダンス (エイサー)	(学校選択として④を選択) ④ (1年次の復習・体育大会課題曲)	○	○	○
		期末考査	授業態度・実技 (ゲーム) により評価			
	7	4 領域選択 (考査後も継続)	(考査後も継続)	○	○	○
	2 学期	陸上競技 (短距離走・リレー) 球技・武道選択Ⅱ ⑦ ネット型 (バレーボール) ⑧ ベースボール型 (ソフトボール) ⑨ 武道選択 (柔道)	(球技選択として①か②のどちらかを選択) ① (スキルテスト・ゲーム・審判) ② (スキルテスト・ゲーム・審判)	○	○	○
		球技選択Ⅲ	(球技選択として①か②のどちらか)	○	○	○

3 学 期	11	⑤ ゴール型（サッカー） ⑥ ゴール型（バスケットボール） ③ 武道選択（柔道）	を選択） ①（スキルテスト・ゲーム・審判） ②（スキルテスト・ゲーム・審判）			
	期末考査		授業態度・実技（ゲーム）により 評価			
	12	球技選択Ⅱ（考査後も継続）	（考査後も継続）	○	○	○
	1	体づくり運動 陸上競技（長距離） 体育理論 4 効果的な動きのメカニズム 5 体力トレーニング 6 運動やスポーツでの安全の確保	（体ほぐしの運動・体力を高める運 動）（ロードコースによるタイムトラ イアル）運動・スポーツの学び方 【SDGs 3. すべての人に健康と福祉を】	○	○	○
	2	球技・武道選択Ⅲ ⑤ ゴール型（サッカー） ⑥ ゴール型（バスケットボール） ③ 武道選択（柔道）	（球技選択として①か②のどちらか を選択） ①（スキルテスト・ゲーム・審判） ②（スキルテスト・ゲーム・審判）	○	○	○
	学年末考査		授業態度・実技（ゲーム）により 評価			
	3	球技選択Ⅲ（考査後も継続）	（考査後も継続）	○	○	○

評価の観点 ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

評価の観点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。
評価の方法 1 欠課・見学・忘れ物等 2 授業への取り組みの様子 3 スキル（実技）テスト・ルールテストの成績 4 グループカードの記入状況		
担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）		
1 時間やルールを守り、無断や安易な理由での遅刻や欠課、忘れ物等がないよう、前向きに取り組ま しょう。 2 運動に主体的に取り組む、ルールやマナーを大切にしましょう。 3 各運動で、記録の向上や競争の喜びや味わい、各種目の技能を高めるよう工夫に努めましょう。 4 運動の方法、体力や記録の高め方、課題解決の方法など主体的に探求しましょう。 5 技術や試合の進め方を学ぶとともに、相手を尊重し、礼儀正しい行動を取りましょう。		

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
保健	[保健体育]

履修学科	普通 科
履修学年	第 2 学年
履修単位	1 単位
教科書	(現代高等保健体育 701)
副教材	(現代高等保健体育ノート 701)

科目目標
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
1 学期	4	○ オリエンテーション 第3単元	【SDGs 3. すべての人に健康と福祉を】 【SDGs 5. ジェンダー平等を実現しよう】			
	5	1 ライフステージと健康	1 ライフステージと健康の関連について理解し、各ステージで活用できる社会からの支援について理解する。			
	6	2 思春期と健康	2 思春期における体の変化を理解し、心の発達に関わって起こる問題について例をあげることができる。			
		3 性意識と性行動の選択	3 性意識の男女差について具体例をあげて説明し、性情報が性行動に影響を及ぼすことを理解する。	○	○	○
		4 妊娠・出産と健康	4 妊娠・出産の過程における健康課題について説明し、母子保健サービスについて例をあげることができる。			
		5 避妊法と人工妊娠中絶	5 家族計画の意義と適切な避妊法について理解し、人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。			
		6 結婚生活と健康	6 心身の発達と結婚生活の関係について説明し、健康的な結婚生活を送るために必要な考え方や行動を理解する。			
		7 中高年期と健康	7 加齢にともなう心身の変化について理解し、高齢社会に必要な社会的な取り組みについて説明できる。			
		期末考査		○	○	○
	7	8 働くことと健康	【SDGs 8. 働きがいも経済成長も】 8 働くことの意義と健康とのかかわりについて理解し、働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。	○	○	○
	9	9 労働災害と健康	9 労働災害の種類とその原因について理解し、その予防策について説明することができる。	○	○	○

2 学 期	10	1 0 健康的な職業生活 第4単元	10 職場がおこなう健康に関する取り組みについて理解し、余暇を積極的にとることの意義を知る。 【SDGs 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに】 【SDGs13. 気候変動に具体的対策を】 【SDGs14. 海の豊かさを守ろう】 【SDGs15. 陸の豊かさを守ろう】			
	11	1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壌汚染と健康 3 環境と健康にかかわる対策 4 ごみの処理と上下水道の整備	1 大気汚染の原因や健康への影響について理解し、大気にかかわる地球規模の健康問題について考える。 2 水質汚濁・土壌汚染とその健康影響を理解し、大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生を説明できる 3 環境汚染による健康被害を防ぐ方法を理解し、産業廃棄物の処理について説明できる。 【SDGs 6. 安全な水とトイレを世界中に】 【SDGs11. 住み続けられるまちづくりを】			
	期末考査			○	○	○
	12	5 食品の安全性	【SDGs 2. 飢餓をゼロに】 【SDGs12. つくる責任つかう責任】 5 食品の案税制と健康とのかかわりについて説明し、食品の安全性に関わる今日的課題について理解する。	○	○	○
	1	6 食品衛生にかかわる活動	6 食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明し、安全確保のための個人の役割を理解する。 【SDGs 3. すべての人に健康福祉を】			
3 学 期	2	7 保健サービスとその活用 8 医療サービスとその活用 9 医薬品の制度とその活用 1 0 さまざまな保健活動や社会的対策	7 保健行政の役割について例をあげて説明し、保健サービスの活用の例をあげることができる。 8 わが国における医療保険のしくみについて理解し、さまざまな医療機関の役割を説明できる。 9 医薬品の正しい使用法について説明し、医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。 10 国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できる。行政機関による社会的対策を理解する。	○	○	○
	学年末考査			○	○	○
	3	1 1 健康に関する環境づくりと社会参加	11 健康の保持増進のための環境づくりについて説明し、主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを理解する。	○	○	○

評価の観点 ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

評価の観点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人生活および社会生活における健康・安全に関する諸問題について理解している。	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題を見つけ、その解決をめざして適切な方法や解決方法を考え、表現している。	個人生活や社会生活における健康・安全について関心をもち、学習に進んで取り組んでいる。
評価の方法 1 定期考査の成績 2 授業への取り組みの様子 3 実験・実習等での取り組みの様子 4 ノート・レポートの提出状況		
担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）		
1 時間やルールを守り、無断や安易な理由での遅刻や欠課、忘れ物等がないよう、前向きに取り組ま しょう。 2 身の回りにある健康課題を明確にし、学習した知識を実生活に生かせるよう、主体的に取り組ま しょう。 3 各単元で健康・安全にかかわる課題を他の生徒と共有し、課題解決に向けて協力し、ともに思考 し、探求していきましょう。		

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
保健	[保健体育]

履修学科	総合学 科
履修学年	第 2 学年
履修単位	1 単位
教科書	(現代高等保健体育 701)
副教材	(現代高等保健体育ノート 701)

科目目標
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
1学期	4	○ オリエンテーション 第3単元	【SDGs 3. すべての人に健康と福祉を】 【SDGs 5. ジェンダー平等を実現しよう】			
	5	1 ライフステージと健康	1 ライフステージと健康の関連について理解し、各ステージで活用できる社会からの支援について理解する。			
	6	2 思春期と健康	2 思春期における体の変化を理解し、心の発達に関わって起こる問題について例をあげることができる。			
		3 性意識と性行動の選択	3 性意識の男女差について具体例をあげて説明し、性情報が性行動に影響を及ぼすことを理解する。	○	○	○
		4 妊娠・出産と健康	4 妊娠・出産の過程における健康課題について説明し、母子保健サービスについて例をあげることができる。			
		5 避妊法と人工妊娠中絶	5 家族計画の意義と適切な避妊法について理解し、人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。			
		6 結婚生活と健康	6 心身の発達と結婚生活の関係について説明し、健康的な結婚生活を送るために必要な考え方や行動を理解する。			
1学期	7	7 中高年期と健康	7 加齢にともなう心身の変化について理解し、高齢社会に必要な社会的な取り組みについて説明できる。			
		期末考査		○	○	○
1学期	7	8 働くことと健康	【SDGs 8. 働きがいも経済成長も】 8 働くことの意義と健康とのかかわりについて理解し、働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。	○	○	○
1学期	9	9 労働災害と健康	9 労働災害の種類とその原因について理解し、その予防策について説明することができる。	○	○	○

2 学 期	10	1 0 健康的な職業生活 第4単元	10 職場がおこなう健康に関する取り組みについて理解し、余暇を積極的にとることの意義を知る。 【SDGs 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに】 【SDGs13. 気候変動に具体的対策を】 【SDGs14. 海の豊かさを守ろう】 【SDGs15. 陸の豊かさを守ろう】			
	11	1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壌汚染と健康 3 環境と健康にかかわる対策 4 ごみの処理と上下水道の整備	1 大気汚染の原因や健康への影響について理解し、大気にかかわる地球規模の健康問題について考える。 2 水質汚濁・土壌汚染とその健康影響を理解し、大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生を説明できる 3 環境汚染による健康被害を防ぐ方法を理解し、産業廃棄物の処理について説明できる。 【SDGs 6. 安全な水とトイレを世界中に】 【SDGs11. 住み続けられるまちづくりを】			
	期末考査			○	○	○
	12	5 食品の安全性	【SDGs 2. 飢餓をゼロに】 【SDGs12. つくる責任つかう責任】 5 食品の案税制と健康とのかかわりについて説明し、食品の安全性に関わる今日的課題について理解する。	○	○	○
	1	6 食品衛生にかかわる活動	6 食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明し、安全確保のための個人の役割を理解する。 【SDGs 3. すべての人に健康福祉を】			
3 学 期	2	7 保健サービスとその活用 8 医療サービスとその活用 9 医薬品の制度とその活用 1 0 さまざまな保健活動や社会的対策	7 保健行政の役割について例をあげて説明し、保健サービスの活用の例をあげることができる。 8 わが国における医療保険のしくみについて理解し、さまざまな医療機関の役割を説明できる。 9 医薬品の正しい使用法について説明し、医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。 10 国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できる。行政機関による社会的対策を理解する。	○	○	○
	学年末考査			○	○	○
	3	1 1 健康に関する環境づくりと社会参加	11 健康の保持増進のための環境づくりについて説明し、主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを理解する。	○	○	○

評価の観点 ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

評価の観点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人生活および社会生活における健康・安全に関する諸問題について理解している。	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題を見つけ、その解決をめざして適切な方法や解決方法を考え、表現している。	個人生活や社会生活における健康・安全について関心をもち、学習に進んで取り組んでいる。
評価の方法 1 定期考査の成績 2 授業への取り組みの様子 3 実験・実習等での取り組みの様子 4 ノート・レポートの提出状況		
担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）		
1 時間やルールを守り、無断や安易な理由での遅刻や欠課、忘れ物等がないよう、前向きに取り組ま しょう。 2 身の回りにある健康課題を明確にし、学習した知識を実生活に生かせるよう、主体的に取り組ま しょう。 3 各単元で健康・安全にかかわる課題を他の生徒と共有し、課題解決に向けて協力し、ともに思考し、 探求していきましょう。		

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
体育	[保健体育]

履修学科	総合学 科
履修学年	第 2 学年
履修単位	2 単位
教科書	(現代高等保健体育 大修館 7 0 1)
副教材	(ステップアップ高校スポーツ 2 0 2 3)

科目目標
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
1 学期	4	オリエンテーション 体づくり運動 体育理論 1 スポーツにおける技能と体力 2 スポーツにおける技術と戦術 3 技能の上達過程と練習	年間計画及び学習の進め方を理解する。 (体はぐしの運動・体力を高める運動) 運動・スポーツの学び方 【SDGs 3. すべての人に健康と福祉を】	○	○	○
		球技選択Ⅰ ⑩ ネット型 (バレーボール) ⑪ ベースボール型 (ソフトボール) ⑫ 武道選択 (柔道)	(球技選択として①か②のどちらかを選択) ① (スキルテスト・ゲーム・審判) ② (スキルテスト・ゲーム・審判)	○	○	○
		4 領域選択 ⑬ 陸上競技 (短距離) ⑭ 器械運動 (マット) ⑮ 水泳 ⑯ ダンス (エイサー)	(学校選択として④を選択) ④ (1年次の復習・体育大会課題曲)	○	○	○
		期末考査	授業態度・実技 (ゲーム) により評価			
	7	4 領域選択 (考査後も継続)	(考査後も継続)	○	○	○
	2 学期	陸上競技 (短距離走・リレー) 球技・武道選択Ⅱ ⑩ ネット型 (バレーボール) ⑪ ベースボール型 (ソフトボール) ⑫ 武道選択 (柔道)	(球技選択として①か②のどちらかを選択) ① (スキルテスト・ゲーム・審判) ② (スキルテスト・ゲーム・審判)	○	○	○
		球技選択Ⅲ	(球技選択として①か②のどちらか	○	○	○

3 学 期	11	⑦ ゴール型（サッカー） ⑧ ゴール型（バスケットボール） ③ 武道選択（柔道）	を選択） ①（スキルテスト・ゲーム・審判） ②（スキルテスト・ゲーム・審判）			
	期末考査		授業態度・実技（ゲーム）により 評価			
	12	球技選択Ⅱ（考査後も継続）	（考査後も継続）	○	○	○
	1	体づくり運動 陸上競技（長距離） 体育理論 4 効果的な動きのメカニズム 5 体力トレーニング 6 運動やスポーツでの安全の確保	（体ほぐしの運動・体力を高める運動）（ロードコースによるタイムトライアル）運動・スポーツの学び方 【SDGs 3. すべての人に健康と福祉を】	○	○	○
	2	球技・武道選択Ⅲ ⑦ ゴール型（サッカー） ⑧ ゴール型（バスケットボール） ③ 武道選択（柔道）	（球技選択として①か②のどちらかを選択） ①（スキルテスト・ゲーム・審判） ②（スキルテスト・ゲーム・審判）	○	○	○
	学年末考査		授業態度・実技（ゲーム）により 評価			
	3	球技選択Ⅲ（考査後も継続）	（考査後も継続）	○	○	○

評価の観点 ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

評価の観点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識するべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。
評価の方法 1 欠課・見学・忘れ物等 2 授業への取り組みの様子 3 スキル（実技）テスト・ルールテストの成績 4 グループカードの記入状況		
担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）		
1 時間やルールを守り、無断や安易な理由での遅刻や欠課、忘れ物等がないよう、前向きに取り組ましよう。 2 運動に主体的に取り組む、ルールやマナーを大切にしよう。 3 各運動で、記録の向上や競争の喜びや味わい、各種目の技能を高めるよう工夫に努めよう。 4 運動の方法、体力や記録の高め方、課題解決の方法など主体的に探求しよう。 5 技術や試合の進め方を学ぶとともに、相手を尊重し、礼儀正しい行動を取りよう。		

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
体育	[保健体育]

履修学科	普通 科
履修学年	第 3 学年
履修単位	3 単位
教科書	(現代高等保健体育 大修館 3 0 4)
副教材	(ステップアップ高校スポーツ 2 0 2 2)

科目目標
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点			
				①	②	③	④
1 学期	4	オリエンテーション 体づくり運動 体育理論 1 生涯スポーツの見方・考え方 2 ライフスタイルに応じたスポーツ	年間計画及び学習の進め方を理解する。 (体ほぐしの運動・体力を高める運動)	○	○		
	5	球技選択Ⅰ	(球技選択として①～③のどれかを選択)	○	○	○	○
	6	⑬ ネット型 (バレーボール) ⑭ ネット型 (バドミントン) ⑮ ベースボール型 (ソフトボール)	① (スキルテスト・ゲーム・審判) ② (スキルテスト・ゲーム・審判) ③ (スキルテスト・ゲーム・審判)				
		期末考査	授業態度・実技 (ゲーム) により評価	/	/	/	/
	7	球技選択Ⅰ (考査後も継続)	(考査後も継続)	○	○	○	○
2 学期	9	陸上競技 (短距離走・リレー)					
	10	球技選択Ⅱ ⑬ ネット型 (バドミントン) ⑭ ネット型 (バレーボール) ⑮ ベースボール型 (ソフトボール)	(球技選択として①～③のどれかを選択) ① (スキルテスト・ゲーム・審判) ② (スキルテスト・ゲーム・審判) ③ (スキルテスト・ゲーム・審判)	○	○	○	○
	11						

3 学 期	期末考査		授業態度・実技（ゲーム）により評価				
	12	球技選択Ⅱ（考査後も継続）	（考査後も継続）	○	○	○	○
	1	体づくり運動 球技選択Ⅲ ⑨ ネット型（卓球） ⑩ ゴール型（サッカー） ⑪ ゴール型（バスケットボール）	（体ほぐしの運動・体力を高める運動） 豊かなスポーツライフの設計 （球技選択として①～③のどれかを選択） ①（スキルテスト・ゲーム・審判） ②（スキルテスト・ゲーム・審判） ③（スキルテスト・ゲーム・審判）	○	○	○	○
	2	体育理論 3 スポーツを推進する取り組み 4 豊かなスポーツライフの創造					
	学年末考査		授業態度・実技（ゲーム）により評価				
	3	球技選択Ⅲ（考査後も継続）	（考査後も継続）	○	○	○	○

評価の観点 ①関心・意欲・態度 ②思考・判断 ③技能・表現 ④知識・理解

評価の観点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識するべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。
評価の方法 1 欠課・見学・忘れ物等 2 授業への取り組みの様子 3 スキル（実技）テスト・ルールテストの成績 4 グループカードの記入状況		
担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）		
1 時間やルールを守り、無断や安易な理由での遅刻や欠課、忘れ物等がないよう、前向きに取り組みましょう。 2 運動に主体的に取り組む、ルールやマナーを大切にしましょう。 3 各運動で、記録の向上や競争の喜びや味わい、各種目の技能を高めるよう工夫に努めましょう。 4 運動の方法、体力や記録の高め方、課題解決の方法など主体的に探求しましょう。 5 技術や試合の進め方を学ぶとともに、相手を尊重し、礼儀正しい行動を取りましょう。		

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
体育	[保健体育]

履修学科	総合学 科
履修学年	第 3 学年
履修単位	3 単位
教科書	(現代高等保健体育 大修館 3 0 4)
副教材	(ステップアップ高校スポーツ 2 0 2 2)

科目目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
- (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点			
				①	②	③	④
1 学期	4	オリエンテーション 体づくり運動 体育理論 1 生涯スポーツの見方・考え方 2 ライフスタイルに応じたスポーツ	年間計画及び学習の進め方を理解する。 (体ほぐしの運動・体力を高める運動)	○	○		
	5	球技選択Ⅰ ⑯ ネット型 (バレーボール) ⑰ ネット型 (バドミントン)	(球技選択として①～③のどれかを選択) ① (スキルテスト・ゲーム・審判) ② (スキルテスト・ゲーム・審判) ③ (スキルテスト・ゲーム・審判)	○	○	○	○
	6	⑱ ベースボール型 (ソフトボール)					
	期末考査		授業態度・実技 (ゲーム) により評価	/	/	/	/
	7	球技選択Ⅰ (考査後も継続)	(考査後も継続)	○	○	○	○
2 学期	9	陸上競技 (短距離走・リレー) 球技選択Ⅱ	(球技選択として①～③のどれかを選択) ① (スキルテスト・ゲーム・審判) ② (スキルテスト・ゲーム・審判) ③ (スキルテスト・ゲーム・審判)				
	10	⑯ ネット型 (バドミントン) ⑰ ネット型 (バレーボール) ⑱ ベースボール型 (ソフトボール)		○	○	○	○
	11						

	期末考査		授業態度・実技（ゲーム）により評価				
	12	球技選択Ⅱ（考査後も継続）	（考査後も継続）	○	○	○	○
3学期	1	体づくり運動 球技選択Ⅲ ⑫ ネット型（卓球） ⑬ ゴール型（サッカー） ⑭ ゴール型（バスケットボール）	（体ほぐしの運動・体力を高める運動） 豊かなスポーツライフの設計 （球技選択として①～③のどれかを選択） ①（スキルテスト・ゲーム・審判） ②（スキルテスト・ゲーム・審判） ③（スキルテスト・ゲーム・審判）	○	○	○	○
	2	体育理論 3 スポーツを推進する取り組み 4 豊かなスポーツライフの創造					
	学年末考査		授業態度・実技（ゲーム）により評価				
	3	球技選択Ⅲ（考査後も継続）	（考査後も継続）	○	○	○	○

評価の観点 ①関心・意欲・態度 ②思考・判断 ③技能・表現 ④知識・理解

評価の観点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識するべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。
評価の方法 1 欠課・見学・忘れ物等 2 授業への取り組みの様子 3 スキル（実技）テスト・ルールテストの成績 4 グループカードの記入状況		
担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）		
1 時間やルールを守り、無断や安易な理由での遅刻や欠課、忘れ物等がないよう、前向きに取り組ましよう。 2 運動に主体的に取り組む、ルールやマナーを大切にしましょう。 3 各運動で、記録の向上や競争の喜びや味わい、各種目の技能を高めるよう工夫に努めましょう。 4 運動の方法、体力や記録の高め方、課題解決の方法など主体的に探求しましょう。 5 技術や試合の進め方を学ぶとともに、相手を尊重し、礼儀正しい行動を取りましょう。		